



「ぶっかつのカイレン」 #1

新幹線変形ロボ
シナカリオンZ
THE ANIMATION

ある日とつぜん 岩手県の太田薬師に
なその巨大怪物体があらわれた。4本のうでをもつ ぶきみな てきだ。
からだ中から 赤いオーラが ほのおのようにぶきだしている。
「オレのVVVFブラスターがきかないなんて ロックじゃねえ……!」
「……じぶんのこうげきも はが立たないです」
E6ネックスとE7アズサでかけつけた ハナビとタイジュは くやしそう。

そのとき 大宮支部で しれいを出すアプトから つうしんが入る。
「どうやらそいつは エージェント・カイレンのようだ!」
カイレンとは かつてのシンカリオンうんてんし——速杉ハヤトたちが 力をあわせてたおしたキトラルザスだ。
そのキトラルザスが なぜかぶっかつしてしまったのだ。

カイレンは4つの剣をE6ネックスとE7アズサに いきおいよくなげつける!
「うわああああああああ !!!」
2たいのシンカリオンZが 大きくぶつとばされてしまった。
E6ネックスのうでと E7アズサのあしが うごかない。

「ふたりとも いますぐ大宮に もどるんだ!
まずは E6とE7をしゅうりする。
そして E5とE6にあたらしいシステムをくわえる!」
ハナビとタイジュが なにごとかと かおを見あわせる。
「パーフェクトZ合体だ!!」
アプトは どうどうと言いはなった。

つづく



一ぶっかつのカイレン #2

新幹線変形ロボ
Eureka Seven
THE ANIMATION

おおみやしほ イーシックス イーセブン
大宮支部で E6とE7のしゅうりが おこなわれている。

「オレのたいせつなE6を イーシックス こんな目にあわせやがって……」

「つぎはぜったいに かちましよう……!」

そのさぎょうを見つめるハナビとタイジュが くやしそうにつぶやく。

「なあ、アプト! ゼットがつたい パーフェクトZ合体って いったよな?」

ハナビのぎもんに アプトがこたえる。

「ああ。いままでのZ合体に ゼットがつたい さらにつよさをくわえた あたらしいシステムだ。

ザイライナーも しゅ 2つの車りようをつかう。うでとあしに がつたい 合体するんだ」

「それが ゼットがつたい パーフェクトZ合体ですか……!」

「すげえ!」

タイジュとハナビが め こうぶんぎみに目をかがやかせる。

「おれもすこしだが ゼットがつたい パーフェクトZ合体のせっけいを て 手つだうことができた」

アプトはうれしそうに はなしをつづけた。

そして にほん シンはいま 日本にいない。

ゆめをかなえるために だ メキシコへと たび立っているのだ。

「あいつがないぶん にほん おれたちががんばらないとな」

「ああ! にほん 日本のへいわとあんぜんは——」

「自分たちで しゅん まもりましよう!」

アプトとハナビとタイジュは あ グータッチで しょうりをちかい合うのだった。

つづく



きんきゅうアラートがなりひびく!

どうやらカイレンが ながの かがみいけ こんどは長野の鏡池にあらわれたようだ。

しかし イーショックス E6のかいりようと イーセブン E7のしゅうりはまだおわっていない。

「オレが行ってくる!」

アプトが ダークシンカリオン でむかおうとした そのときだった。

「チェンジ! シンカリオン!!」

なんと セット エヌななひやくエス シンカリオンZ かがみいけ N700Sかもめが かがみいけ 鏡池にかけつけているではないか。

もじしほなかつ 門司支部 なかつ 中洲ヤマカサが セット うんてんする セット あらたなシンカリオンZのとうじょうだ。

「Z合体 シンカリオン!」

エヌななひやくエス N700Sかもめが はちほちさん ザイライナー セットがったい 883ソニックニチリンとZ合体!

エヌななひやくエス シンカリオンZ た N700Sソニックニチリンが た カイレンのまえに立ちはだかる。

「行くぞ、ヤマカサ! い アブソリュートソード!!」

「ニチリンカモメボウガン!!」

アプトがのる エヌななひやくエス ダークシンカリオンアブソリュートと

エヌななひやくエス ヤマカサがのる エヌななひやくエス N700Sソニックニチリンが ちから カイレンへのこうげきをくりひろげる。

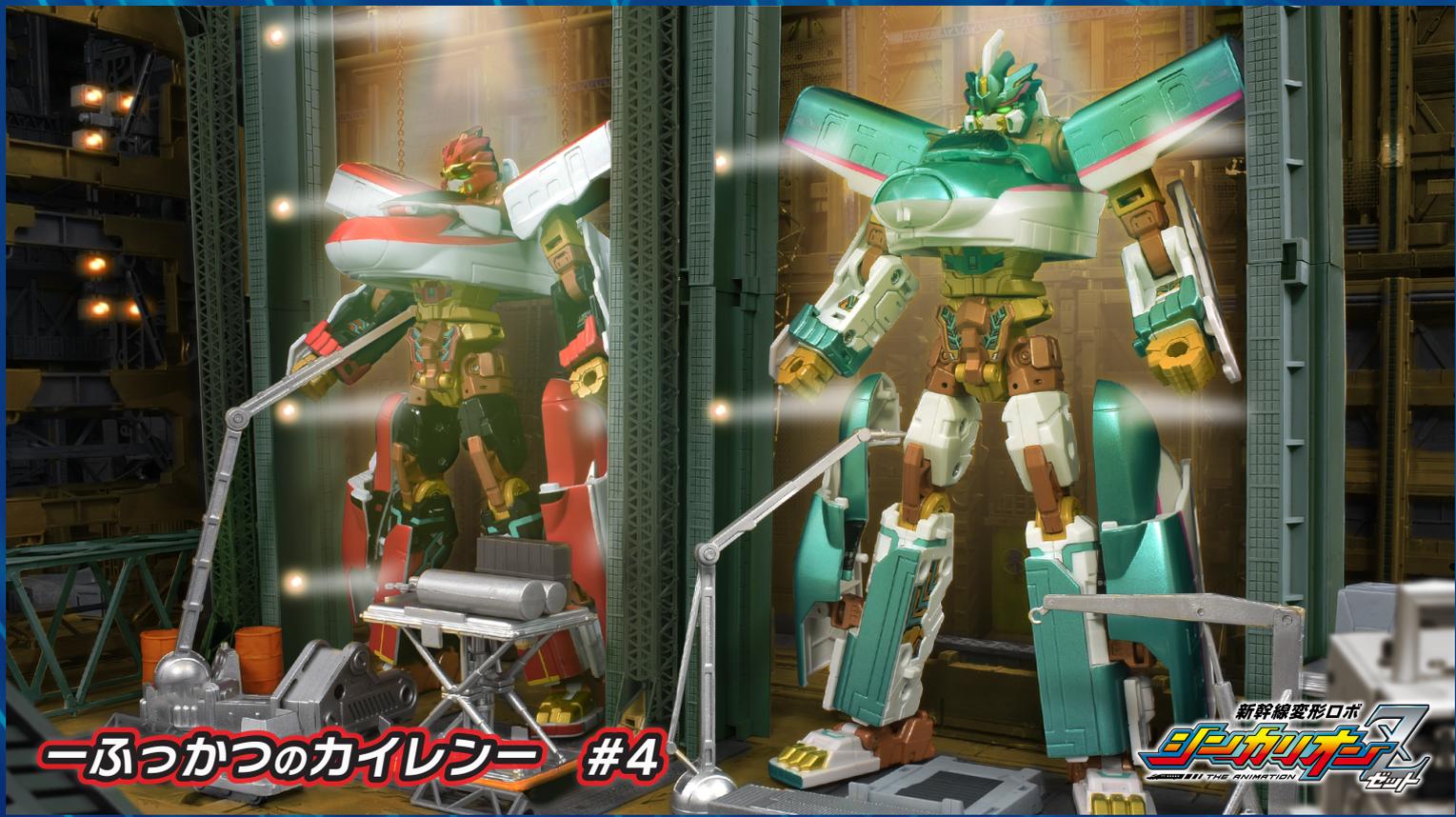
だが ちから カイレンに ちから それをうわまわる力で ちから はんげきされてしまう。

そのあまりの ちから 力に ちから アプトもヤマカサも ちから なすすべがない……!

そして ちから カイレンは ちから ぶたたびどこかへと ちから きえさってしまった。

アプトとヤマカサは おみや くやしい おみや 気持ちを おみや かかえたまま おみや 大宮にもどるのだった。

つづく



一ぶっかつのカイレン #4

新幹線変形ロボ
シノカリオンZ
SHINKANSEN THE ANIMATION

おみやしほ 大宮支部に ほく 白ぎんの しん 新かんせんと エヌナナヒヤクエス シンカンセンモードのN700Sかもめがもどってきた。
 ハナビとタイジユはアプトとヤマカサがぶじだったことに おお 大よろこびだ。

よいしらせはまだあった。

イーセブン E7のしゅうりが あ わっただけではない。

イーファイブ パーフェクトE5と イーシックス パーフェクトE6のかいりようが つ じにかんせいしたので。

それぞれの たい どう体と う でと あ しが いろ きん色にかがやいている。

「もしかして すげ えパワーアップしたのか!?!」

め 目をかがやかせて き いてくるハナビに ア プトは ほ こらしげに こ たえる。

「パワーだけじゃない。ぶきにも ちゅう もくだ。

イーファイブ E5のヤマノテエクスカリバーは “ヤマノテダブルエクスカリバー” に。

イーシックス E6のVVVFブラスターは “ファイファイエフ ネックスVVVFブラスター改” に かい かいぜんされている」

さらに あた らしい そ うびも く わえられたようだ。

「イーファイブ パーフェクトE5ヤマノテには “ヤマノテクロー” と “ヤマノテシールド”。

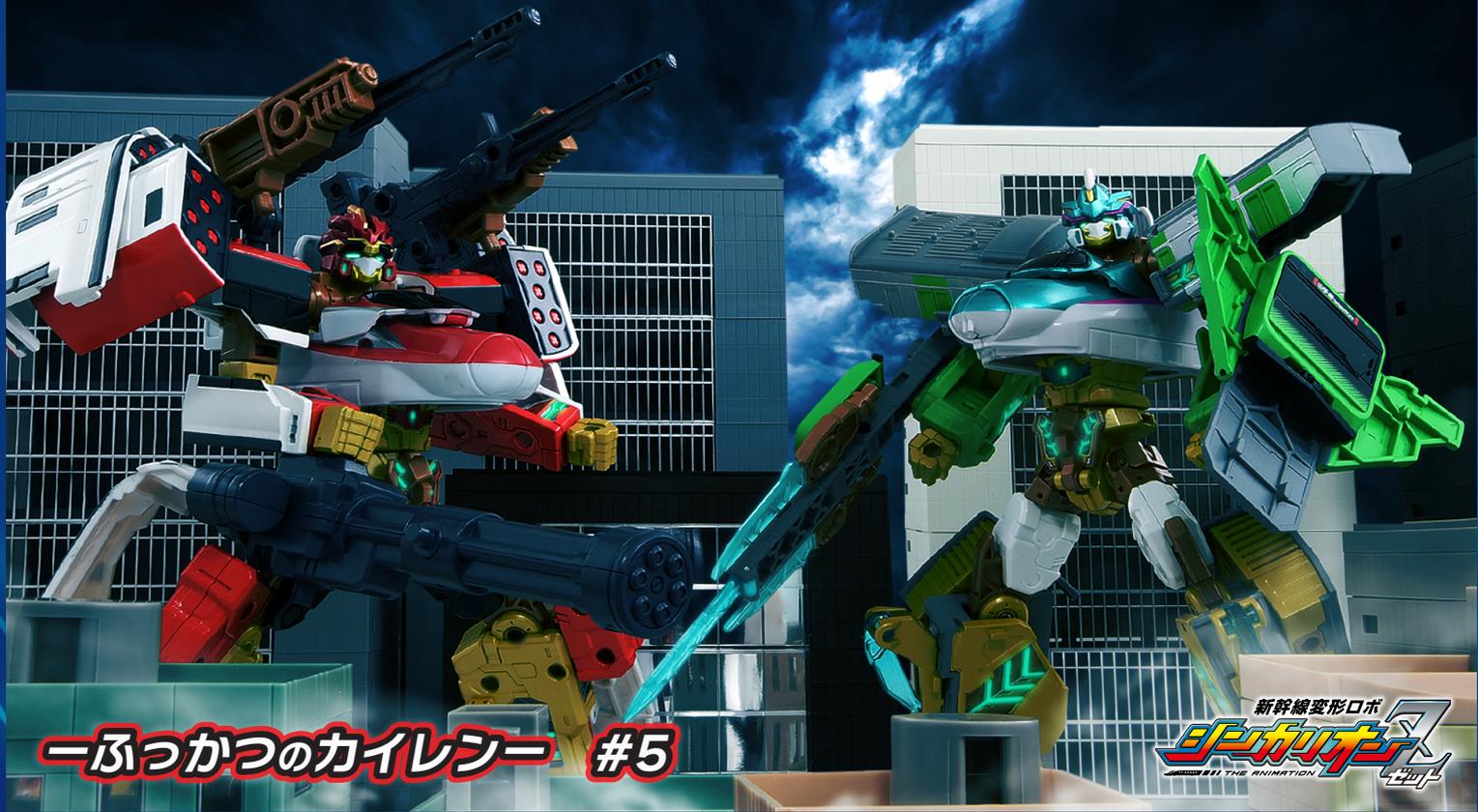
そして イーシックス パーフェクトE6ネックスには “ネックスガトリング”——

この あた らしいぶきが そ なえられているんだ」

セットがつたい パーフェクトZ合体ができるE5とE6なら イーファイブ カイレンを イーシックス たおせる。

シンがいなくても にほん かならず日本のへいわとあんぜんを ま もってみせる!

ア プトと ハ ナビと タイ ジユと ヤマ カサの4人は そ うちかい合うのだった。



一ぶっかつのカイレン #5

新幹線変形ロボ
シンカリオンZ
THE ANIMATION

ふたたびカイレンが とうきょう うえの こんどは東京の上野にあらわれた！
イーファイブ イーシックス アプトとハナビがシンカンセンモードのE5とE6にのりこむ。
イーファイブ イーシックス 「いよいよパーフェクトE5とE6の出ばんだ……！」

イーファイブ イーシックス れん E5とE6は連結したじょうたいで うえの ほうめん 上野ほうめんへとむかって走りだす。
ちから れん 「おれとハナビ ふたりの力が “れん しんか そくど” を生みだすんだ」
イーファイブ イーシックス E5とE6のそくどがグングンとかそくする。
れん そして “れん しんか そくど” にとうたつした。
「チェンジ！ シンカリオン！！」
こゑ あ イーファイブ イーシックス しや アプトとハナビがかけ声を上げると E5とE6の乗りようがへんけいする。

イーニ=きんご さらにザライナー E235ヤマノテと
イーニ=ご=きゆう ほし ザライナー E259ネックスが走ってきた。
ゼットがったい 「パーフェクトZ合体！ シンカリオン！」
ゼット ゼット ふたりがZギアのZボタンをいきおいよくタップすると——
ゼット イーファイブ 『シンカリオンZ パーフェクトE5ヤマノテ』
ゼット イーシックス 『シンカリオンZ パーフェクトE6ネックス』
ゼットがったい パーフェクトZ合体が ついにかんせいした！



※実際のシンカリオンZの玩具に連結機能はありません。

ちから い ハナビとアプトはカイレンにむけてカブよく言いはなつ。
ふんぽん 「かくごしろよ 4本うでヤロー！」
にほん 「日本のへいわとあんぜんは かならずまもってみせる！」
いま はげしいたたかいが 今まさにはじまろうとしている。

つづく



うえの
上野にあらわれたカイレンに ^{イーファイブ}パーフェクトE5ヤマノテと ^{イーシックス}パーフェクトE6ネックスが たちむかう。
アプトはカイレンのこうげきを ヤマノテシールドでガード！
そして ヤマノテダブルエクスカリバーで はんげきする。
ハナビはネックスガトリングを うちまくる。

「はでに きめるぜ！ ^{ファイファイエフ}ネックスVVVFフルバースト！！」
^{イーシックス}パーフェクトE6ネックスが “^{ファイファイエフ}ネックスガトリング” “^{ファイファイエフ}ネックスVVVFプラスター改” “^{かい}ネックスミサイル”
を いっせいに はっしや！
「これでおわりだ！ ヤマノテクロ————！！」
^{イーファイブ}パーフェクトE5ヤマノテの ^{あし}足に そうびされた ^{かぎづめ}カギづめが カイレンに せまる！

ズガアアアアアアアアアツ！！

じめんに たたきつけられたカイレンは うごかない。
「やったぞ！！」
「っしやあああああツ！ きまったぜ————！！」
アプトとハナビが よろこびのこえを上げた そのとき——
たおれていたカイレンが きよだいな ^{けん}剣で はんげきしてきた。
「!?」
カイレンは ゆっくりと たち上がり ふたたび ^あじょうくうに うかび 上がる。
「むてきなのか こいつ……!?」
アプトとハナビは ぼうぜんとするしかなかった。





一ぶっかつのカイレンー #7

新幹線変形ロボ
シノカリオン7
SHINKANSEN HENKEI ROBO SHINKALION
THE ANIMATION

カイレンのあまりのつよさに アプトとハナビは とまどうばかりだった。
そのとき ぶたりのもとに けんきゅういんの三島ヒビキから れんらくが**はい**入る。
『カイレンが ぶっかつしたりゆうが はんめいしました!』

いち 1ねんまえに シンやアプトたちがたおした アラバキがかかわっている——
ヒビキは そうせつめいする。
そのアラバキが カイレンのからだをつかって ぶっかつしてしまったようだ。
「なあ……それって ゾンビってヤツなんじゃねえのか……?!」
ハナビが おもわずゴクリと いきをのむ。
「もう どうすることも できないのか……!？」
アプトが くやしそうにつぶやいた そのときだった——

「だったら じょうぶつさせてやらないとな!」

メキシコにりゆうがくしていたシンとスマットが かけつけたのだ!
「シン! スマット! きてくれたのか!!」
おもいがけないことに アプトはおどろきと よろこびのこえを**あ**上げる。
「ああ! オレたちの力を みせてやろうぜ!!」
シンは**ちから**カづよく いいはなつ。
そのすがたは きぼうのひかりに みちあふれていた。



一ぶっかつのカイレン #8

新幹線変形ロボ
シナリオ
ALL THE ANIMATION
7

メキシコからかけつけたシンが ^{イーファイブ}パーフェクトE5ヤマノテにのりこむ。
アブトは^{イーセブン}ダークシンカリオンアブソリュートで ^{イーファイブ}カイレンとのたたかいにのぞむ。
さらに ^{イーシックス}パーフェクトE6ネックスと ^{イーセブン}E7アズサと ^{エヌななひやくエス}N700Sソニックニチリンも ^{イーファイブ}せいぞろい——
いよいよ ^{イーファイブ}さいごのたたかいが ^{イーファイブ}はじまる！

「いくぞカイレン！ うおおおおおおおッ！！」
シンは ^{イーファイブ}ヤマノテダブルエクスカリバーで ^{イーファイブ}どとうのこうげきを ^{イーファイブ}くりひろげる。

ハナビとタイジュとヤマカサ ^{イーファイブ}そしてアブトも ^{イーファイブ}いっせいに ^{イーファイブ}こうげきを ^{イーファイブ}しかける。
^{イーシックス}パーフェクトE6ネックスは ^{ファイブファイブ}ネックスVVVFフルバースト！
^{イーセブン}E7アズサは ^{イーセブン}アズサコウデンアツアックス！
^{エヌななひやくエス}N700Sソニックニチリンは ^{イーセブン}ニチリンカモメボウガン！
^{イーセブン}ダークシンカリオンアブソリュートは ^{イーセブン}アブソリュートソード！

^{イーファイブ}すさまじいれんぞく^{イーファイブ}こうげきに ^{イーファイブ}さしもの^{イーファイブ}カイレンにも ^{イーファイブ}すきがうまれた。
そこに ^{イーファイブ}パーフェクトE5ヤマノテが ^{イーファイブ}とどめのいちげきはなつ。
「^{セット}パーフェクトZグランクロス!!!」
^{イーファイブ}まばゆいひかりをはなちながら ^{イーファイブ}グランクロスが^{イーファイブ}カイレンにさくれつした！^{イーファイブ}ついにシンたちは ^{イーファイブ}しょうりをおさめる。

「アブト！ オレうれしかった。みんなとまたいっしょにたたかえて！」

「シン………！ オレもだ」

すると ^{イーファイブ}パーフェクトE5ヤマノテと^{イーファイブ}ダークシンカリオンアブソリュートが ^{イーファイブ}こぶしをつき出しあい——
^{イーファイブ}グータッチで ^{イーファイブ}おたがいのけんとうを ^{イーファイブ}たたえあうのだった。

おわり